

県外で活躍している若者のこえを聞こう ～鳥取市出身社会人編～



令和6年度第2回地方創生ストリートミーティング 開催レポート



県外に居住している鳥取市出身の若者に“そと”から見た“鳥取市”の魅力や課題についてお聞きし、人口減少対策の中心課題である、若者定住、転出抑制やUターン促進につながる施策立案のための意見交換を行いました。
また、全国各地に居住している鳥取市出身の若者に参加してもらえよう、オンラインにより実施しました。

■ 開催概要

日 時：2024年8月28日(水)19:00-20:30

会 場：オンライン

参加者：市長、ファシリテーター、鳥取市出身で県外在住の社会人5名

REPORTS

【テーマ1】鳥取市の魅力・イメージ

【自然・観光・食】

- ・ 自然がきれいなところが魅力的。海や山の景色が見えることが都市部にはない良さ。
- ・ 小さいころから自然に触れることが感受性を養う。
- ・ 地元には鳥取は娯楽が少ないと思っており都会への憧れがあったが、自然が豊かで少し歩けば川が流れ、登山ができるのは都市部にはなかなかできない魅力であると気付いた。
- ・ いろいろな地域の人と話すが、鳥取砂丘の知名度がすごく、海鮮がおいしいことも多く聞く。
- ・ 鳥取は水がおいしいと感じる。野菜なども都市部では高いものを買ったらおいしいが、鳥取ではそれを普通の値段で買える。
- ・ 観光に力を入れている印象がある。砂丘アクティビティを県外の人でも知っており、興味を持っている人もいる。

【ひと】

- ・ 都市部では、知り合いや仕事関係以外で知り合ったり話したりすることがない。鳥取では家族や友人、近所の方など繋がりが多い。出産の時も頼れる人がいる。
- ・ 一人になりたいと思った時に一人になれる時間は鳥取のほうがある。人と関わりたくない時に車を運転して山や海に行けるのは都会ではない。
- ・ 電車通勤は時間に追われるが、鳥取では心の余裕がある。

【生活環境】

- ・ 鳥取は車がないと出かけられないのが不便。都市部では電車があり、歩いてすぐのところにいろいろなものがある。
- ・ 空気がきれいでずっと暮らすには良い場所。

REPORTS

【テーマ2】 ライフイベントなどを機に鳥取市へ戻って住みたい、関わりたいか

【いつかは鳥取市で生活したい、きっかけがあれば生活したい】

- ・ 結婚して子どもが生まれたら地元で育てたいという思いもあるが、仕事がネックになる。
- 👤 UIターンで真っ先に心配に挙げられるのが仕事面。鳥取市も様々な分野の企業を誘致しており、面白い企業もあるが、知られていない面もあるのでPRに取り組んでいる。

【きっかけがあれば鳥取市で生活しても良い】

- ・ オンラインで場所を選ばずにできる仕事も増えている。自然豊かな環境でゆっくり仕事ができるのが魅力的な自治体もあり、鳥取市でも実現できるのではないかと思う。
- ・ 学校選びや人と触れ合う機会が都会のほうが多く、価値観が広がり子どもの成長が期待できる点では都市部のほうが子育てに良い面もある。
- ・ 看護師をしている。昔とは違って一つの病院で働き続けるだけでなく応援ナースや派遣看護師といった働き方が主流になってきているなど、フレキシブルに働くことができる。インバウンドにも関わっており、都市部では仕事と仕事の組合せの融通が利きやすい。
- ・ 今住んでいるところは子育てや教育に力を入れている。鳥取市も子育てに特化しているなど大きなインパクトがあれば、機会があれば鳥取に帰りたいと思う。
- 👤 鳥取市でもワーケーションを進めている。DXで場所や時間を選ばない働き方が進んでおり、鳥取砂丘や温浴施設にワーキングスペースを確保するなど力を入れている。
- 👤 一つの仕事に専念するだけでなく、異なる分野の齟齬とを同時にこなすような働き方も若い世代に求められていることを認識させていただいた。

【生活したいとは思わないが、鳥取市とは関わっていききたい】

- ・ 鳥取は遊ぶ場所がなく、都会への憧れもあり大学進学を機に上京した。
- ・ 友人知人の多くは関東に住んでおり、離れてしまうのは懸念点。
- ・ 子育てや結婚をしたときに、両親が近くにいるためサポートを受けられる。両親が体調を崩してもすぐに駆け付けられる。
- ・ 自分自身がやりたい仕事が鳥取市でできる確信がない。リモートワークも可能であるが、その生活を継続することは躊躇する。鳥取でやりたいことを鳥取ですることが理想。
- ・ エンタメ系の職種をしているが、鳥取ではそういうものに触れる機会がなく、東京でないとできないと感じている。エンタメを鳥取に広めて、若者が地元で触れ、お金を稼ぐことができるようになれば鳥取に残ってもらえると思い、そうした環境づくりに協力できたらと思う。
- 👤 DX推進で距離や場所を選ばない働き方がこれからますます主流になる。鳥取でもいろいろな働き方に対応できるような環境整備に取り組んでいきたい。

REPORTS

【テーマ3】若者が帰ってくる、住み続けられるまちにするためにはどのようなことに取り組んだら良いか

【まちづくり】

- ・ オンラインで仕事ができるとはいっても、東京や大阪には行かないといけないこともある。新幹線や高速道路などのアクセスの良さは魅力の一つ。
- ・ 大学進学を機に鳥取市を出てしまうので、高校生が出たくないようなまちづくり、若い世代が魅力を感じるまちづくりを考えても良い。高校生は移動手段が少ないため、そのあたりの検討も必要。
- ・ 鳥取は大学数、学部や学べることも限られる。もう少し幅が広がれば、地元大学に進学し、地元就職する流れが増えると思う。
- ・ 地元を出たいという気持ちは小さい時から積み重なったもので、わくわくが少ないというのは子どもにとって大きい。商業施設なども充実したら今の若い学生にとっては嬉しいのではないかな。
- 👤 公共交通の維持確保は重要で、高齢者だけでなく若い方にとっても必要。充実させていきたい。高速道路、高速鉄道の整備についても自治体連携で取り組んでいきたい。
- 👤 大学進学は一つのターニングポイントである。多くの方に進学してもらえる大学にしていきたい。

【経済・雇用】

- ・ 仕事がしやすいまちづくりが大事。鳥取市は子育てしやすい環境も整っていると思うが、鳥取市でやりたい仕事がないと住めない。
- ・ メーカーの開発職や工場は地方にある場合もあるが、鳥取には希望する職種がなかったので選択肢から外れてしまった。
- 👤 働く分野の選択肢を増やすため、企業誘致で多くの分野の企業を誘致していこうとしている。コロナ禍を経て企業のリサーチの対象にもなっておりチャンスはある。
- 👤 仕事のうえでいろいろな選択肢があるまちであるように力を入れていきたい。

【子育て】

- ・ 滋賀県竜王町ではダイハツと連携して大きなインパクトのある子育て施策を行っている。鳥取市もここに力を入れている、他ではできないという大きなインパクトが大事。今の時代は情報が一番であり、良い取り組みをしても自分から調べないと知りようがないならば厳しい。
- 👤 鳥取市ではそこまで強烈なことはしにくいですが、情報発信は非常に大切。鳥取市は子育て支援に力を入れており、さらに充実するとともに情報発信も行っていきたい。
- 👤 国が統一した子育て支援策をもっと進めていくことが必要だが、それぞれの自治体の特徴を生かした子育て支援策は進めていく必要がある。

【その他】

- ・ 都市部が便利のため、都市部から地方に戻るの大きな決断になる。そこを後押しするようなサポートや魅力があれば鳥取を選択する方も増えると思う。
- 👤 UIターンを後押しする施策として、全国に先駆けて鳥取市ではUIターン窓口を設置し、相談に応じている。さらに充実させていきたい。